

資料 ②

学校給食材料費徴収金(収入)と学校給食材料費(支出)について

学校給食法第11条

給食の実施に必要な施設及び設備に要する経費は市の負担

給食費は保護者の負担 → 給食費は、全額食材費に充てている

給食材料費 収支比較

年度	学校給材料費 徴収金調定額 (A)	学校給食材料費 支出済額 (B)	支出超過額 (B) - (A)	価格改定
H20	413,148,327	421,277,016	8,128,689	
H21	461,216,443	471,283,347	10,066,904	小:4,000円 中:4,400円 235円 258円
H22	469,243,299	477,649,218	8,405,919	
H23	469,376,536	479,151,421	9,774,885	
H24	478,414,206	492,942,918	14,528,712	
H25	479,357,369	489,691,012	10,333,643	
H26	498,711,898	500,983,421	2,271,523	小:4,150円 中:4,550円 消費税8% 244円 267円
H27	480,422,854	518,932,704	38,509,850	
H28	494,020,922	501,043,319	7,022,397	
H29	496,917,269	503,997,476	7,080,216	
H30	487,691,308	501,468,634	13,777,326	

平成29年度 1人1食当り約3.72円のオーバー

(超過額7,080,216÷給食実施のべ人数1,899,660)

平成30年度 1人1食当り約7.37円のオーバー

(超過額13,777,326÷給食実施のべ人数1,868,495)

R元年度に小中学生月150円値上げした場合の試算

平成30年度赤字額 13,777,326円

児童生徒、教員、調理員等11,000人×150円/月×11ヶ月＝18,150,000円

※以前、井上議員の質問で、給食費と比較して、取りすぎてないかと質問あり

参考：

○食材の上昇

天候不順による野菜の高騰

円安による輸入品の上昇(小麦粉・牛の輸入飼料上昇に伴う乳製品の上昇)

地産地消補助事業実施に伴う地産食材使用の加算分

異物混入に伴う材料廃棄(H27のみ)

○献立は、食材の価格予想をしながら、実施の3か月前にたてる

↓

栄養士3名と所長、調理員が参加する献立会議(所定の時間内に調理できるか、調理工程上問題ないか、など)を経て決定

↓

2カ月前に物資を選定：予算の範囲内で選定するようにしているが、献立作成時の価格予想より価格が上昇していたり、安価なものがあっても、味(物資選定懇話会で参加者の意見を聞く)、添加物、栄養価、バラエティさなどの関係で高いものを選定することもある。